

| 今月の経済動向 (2019年4月)

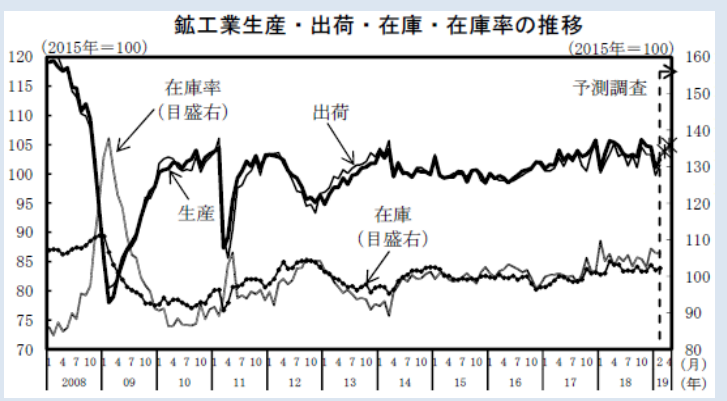
● 月例経済報告 (4/18)

<p>基調判断</p>	<p>(4月) 景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(3月) 景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(4月) 持ち直している。</p> <p>(3月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="687 465 1366 862"> <p>(2011年=100) 消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(4月) 増加している。</p> <p>(3月) 増加している。</p> <div data-bbox="687 875 1366 1272"> <p>(2000年=100) 製造業・非製造業の設備投資 (実質)</p> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(4月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(3月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="687 1285 1366 1682"> <p>住宅着工戸数 (季節調整値)</p> <p>(年率: 万戸)</p> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(4月) 着実に改善している。</p> <p>(3月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="687 1695 1366 2092"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> <p>(万人)</p> </div>

生産

(4月) 一部に弱さがみられ、おおむね横ばいとなっている。

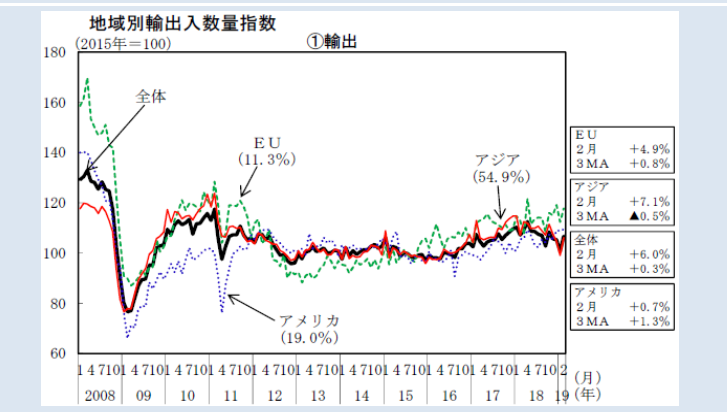
(3月) 一部に弱さがみられ、おおむね横ばいとなっている。



輸出

(4月) このところ弱含んでいる。

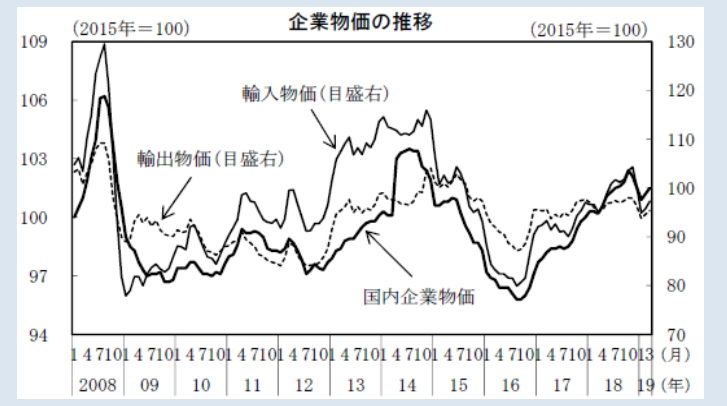
(3月) このところ弱含んでいる。



国内企業物価

(4月) このところ緩やかに上昇している。

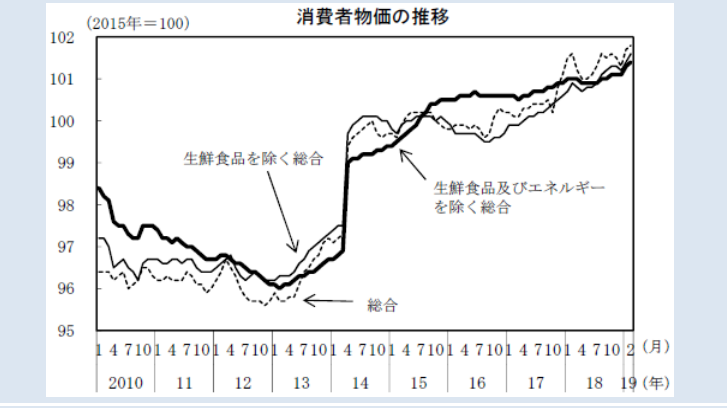
(3月) このところ横ばいとなっている。



消費者物価

(4月) このところ緩やかに上昇している。

(3月) 横ばいとなっている。



海外経済

(4月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

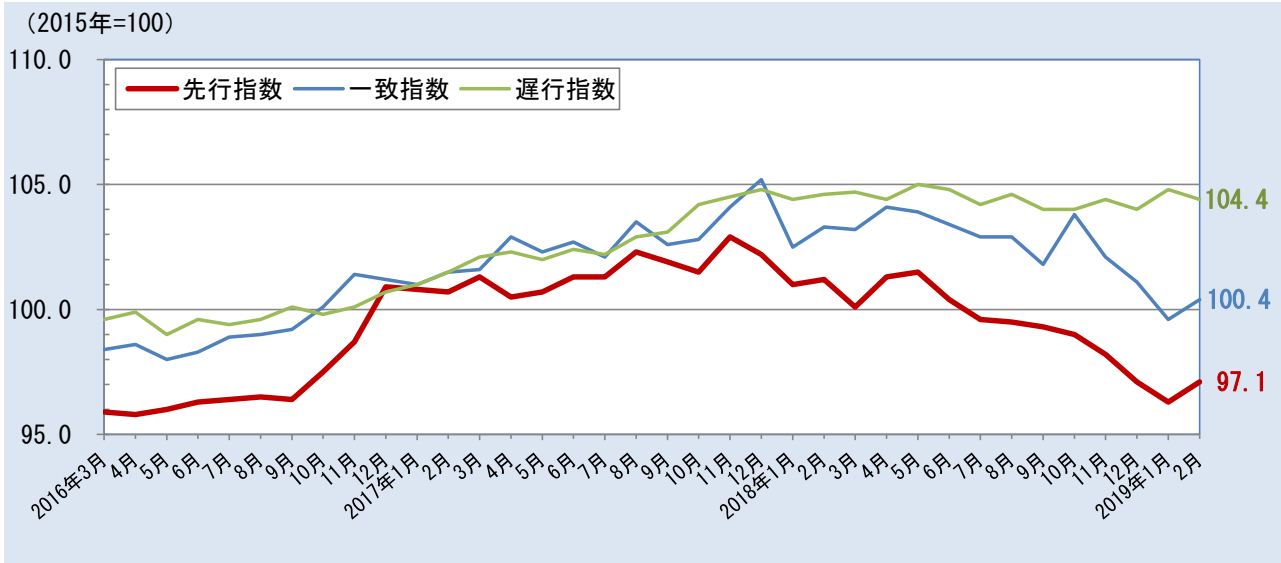
(3月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

● 景気動向指数（2019年2月・改訂値）

2019年2月のCI一致指数（改訂値）は前月より0.8ポイント高い100.4ポイントとなり、4か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は前月より0.56ポイント低い100.4ポイントとなり、4か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.36ポイント低い101.7ポイントとなり、4か月連続の下降となった。

CI先行指数は前月より0.8ポイント高い97.1ポイント、運行指数は前月より0.4ポイント低い104.4ポイントとなった。

景気の基調判断（CI一致指数）は、「下方への局面変化を示している」を据え置いた。



[景気動向指数：内閣府](#)